

Windowsの基本

1 キーボードの操作

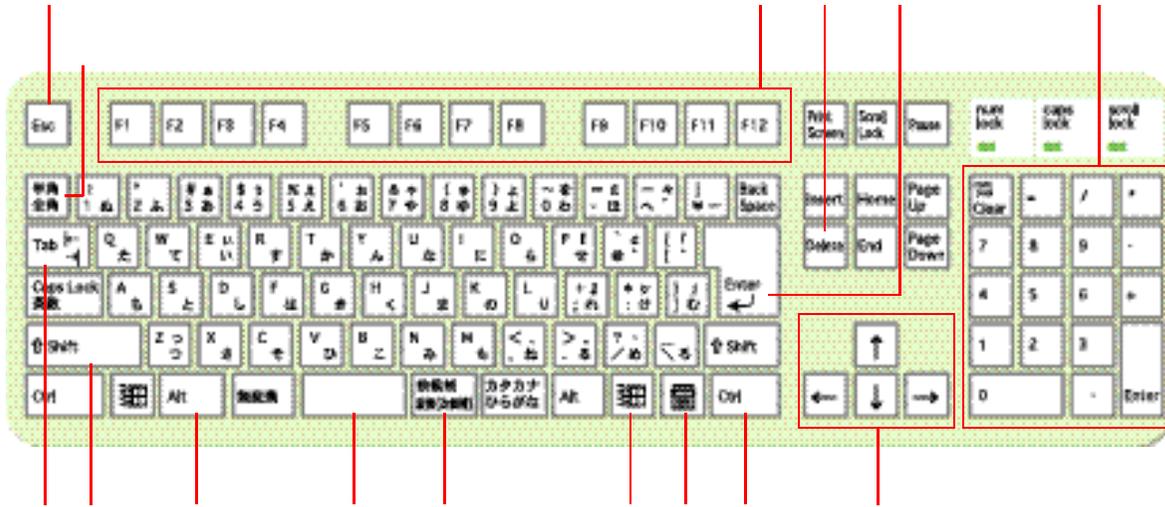
文字の入力は、ほとんどの場合、キーボードを使って行います。基本的な操作について覚えておく必要があります。

キーの種類

キーボードのキーを押すことで、文字を入力することができます。キーに書かれている文字が入力できるキーを**文字キー**といいます。キーには、文字入力以外にもさまざまな機能が割り当てられています。

キーボードの配列

キーボードは文字入力に便利のようにキーが配列されています。現在のキーボードの文字キーの配列は、ほとんどがホームポジションの上段の左から6文字が、「QWERTY」であるQWERTY配列を採用しています。



- Esc (エスケープ) キー**：操作の取消や直前の画面に戻るなどの機能がある。
- 半角/全角キー**：日本語入力のオンとオフとを切り替える。(Altキーと組み合わせることもある。)
- ファンクションキー**：アプリケーションソフトが割り当てた機能を実行する。
- Delete (デリート) キー**：選択した対象を削除する。
- Enter (エンター) キー**：入力を確定したり改行をする。
- テンキー**：計算のために数字などを入力する。
- Tab (タブ) キー**：文字の位置を揃えるためのタブの入力や、カーソルの移動を行う。
- Shift (シフト) キー**：別のキーと併用して、記号を入力したり、英字の大文字と小文字を切り替える。
- Alt (オルト) キー**：別のキーと組み合わせて、さまざまな操作を実行する。
- スペースキー**：空白を入力するキー。変換をする場合にも使用する。
- 変換キー**：文字の変換を行う。
- Windows (ウィンドウズ) キー**：スタートメニューを表示する。
- アプリケーションキー**：ショートカットメニューを表示させる。
- Ctrl (コントロール) キー**：別のキーと組み合わせて、さまざまな操作を実行する。
- カーソル移動キー**：カーソルを移動させる。カーソルキー、矢印キーともよばれる。

文字の入力

1つのキーには、いくつか記号や文字が表示されています。文字キーにあるひらがなは、仮名入力方式のときに入力される文字です。アルファベットは、日本語入力システムがオフのときに入力されます。キーの上の段にある文字や記号は **Shift** (シフト) キーを押しながらキーを押すことで入力することができます。ローマ字入力の際には、アルファベットに従って入力します。



タッチタイピング

タッチタイピングは、キーボードを見ずに文字入力を行うことです。タッチタイピングでは、左右のそれぞれの指がどのキーを押すかが決まっています。それぞれの指にはホームポジションが決められていて、入力する度にそれぞれの指を戻します。たとえば、左手の人指し指は、キーボードの **F** に、右手の人指し指は、**J** に置きます。

記号の読み方

- ! エクスクラメーションマーク
- " ダブルクォーテーションマーク
- # ナンバー
- \$ ドル(ダラー)
- & アンパサンド
- ' アポストロフィ
- ~ チルダ
- ^ ハット
- * アスタリスク
- @ アットマーク
- : コロン
- ; セミコロン
- , カンマ
- . ピリオド(ドット)
- アンダースコア
- ` バッククォート

ローマ字・仮名変換表

ローマ字入力による仮名文字変換の一覧です。

あ行	あ	い	う	え	お	や行	や	ゆ	よ		
	A	I	U	E	O		YA	YU	YO		
か行	か	き	く	け	こ	ら行	ら	り	る	れ	ろ
	KA	KI	KU	KE	KO		RA	RI	RU	RE	RO
	きゃ	きゅ	きょ	きよ			りゃ	りゅ	りょ		
	KYA	KYU	KYO			RYA	RYU	RYO			
さ行	さ	し	す	せ	そ	わ行	わ				を
	SA	SI	SU	SE	SO		WA				WO
	しゃ	しゅ	しゅ	しゅ	しゅ		ん				
	SHA	SHU	SHE	SHO	NN						
た行	た	ち	つ	て	と	が行	が	ぎ	く	げ	ご
	TA	TI	TU	TE	TO		GA	GI	GU	GE	GO
	ちゃ	ちゅ	ちゅ	ちゅ	ちゅ		ぎゃ	ぎゅ	ぎゅ	ぎゅ	ぎゅ
	TYA	TYU	TYU	TYO		GYA	GYU	GYU	GYO		
	CHA	CHU	CHU	CHO	ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	
な行	な	に	ぬ	ね	の		ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
	NA	NI	NU	NE	NO		じゃ		じゅ		じょ
	にゃ		にゅ		にょ		JA		JU		JO
	NYA		NYU		NYO		JYA		JYU		JYO
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ	だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
	HA	HI	HU	HE	HO		DA	DI	DU	DE	DO
	ひゃ	ひゅ	ひゅ	ひゅ	ひゅ						でい
	HYA	HYU	HYU	HYO					DHI		
ま行	ま	み	む	め	も	ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	MA	MI	MU	ME	MO		BA	BI	BU	BE	BO
	みゃ	みゅ	みゅ	みゅ	みゅ		びゃ	びゅ	びゅ	びゅ	びゅ
	MYA	MYU	MYU	MYO		BYA	BYU	BYU	BYO		
					ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	
						PA	PI	PU	PE	PO	
						ぴゃ	ぴゅ	ぴゅ	ぴゅ	ぴゅ	
						PYA	PYU	PYU	PYO		

2 ファイルの種類

ファイルとは

ファイルとは、ハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROMなどに記録され、名前の付けられたデータの単位です。OSは、補助記憶装置に保存されたファイルの名前や場所を管理します。

ファイルには、さまざまな種類があります。Windowsでは、ファイルはアイコンの形で表示されています。ファイル単位でコピーしたり、移動したり、削除したりといった操作を加えることができます。

個々のファイルには識別のための名前（ファイル名）が付けられていて、Windowsは、これらのファイルがどのような性格のものか、データファイルがどのようなアプリケーションで使うものなのか、などの管理

ファイルは、その種類が視覚的にわかるようにOSによって識別され、アイコンとして表示されています。アイコンのひとつひとつがファイルにあたり、ファイル名が付けられています。



を行っています。

ファイルを開く

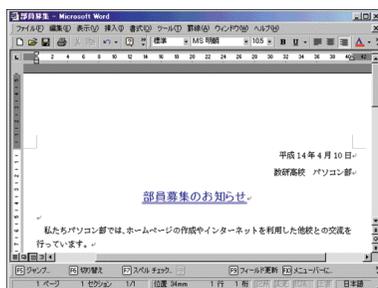
OSによって、アプリケーションとそのアプリケーションで作成したファイルは関連付けられています。

ファイルをダブルクリックするだけで、アプリケーションが起動し、ファイルを開くことができます。

ファイルを直接開くには、開きたいファイルのアイコンをダブルクリックする。



アプリケーションが起動し、ファイルが開く。

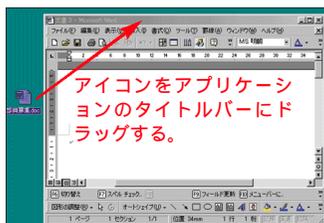
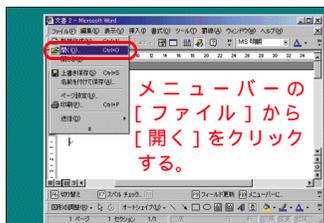


補助記憶装置

ハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROMなどの記憶装置を指します。

アプリケーションからファイルを開く

アプリケーションを起動してからファイルを開く方法もあります。



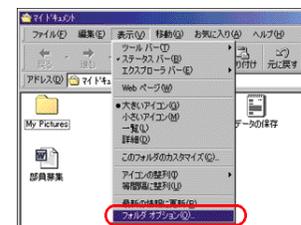
拡張子とは

それぞれのファイルには、ほかのファイルと区別するためにファイル名が付けられ、ファイル名の末尾にファイルの種類を表す**拡張子**が付けられます。わたしたちは、どのようなアプリケーションで扱えるファイルかをアイコンの形、あるいは拡張子から判断することができます。

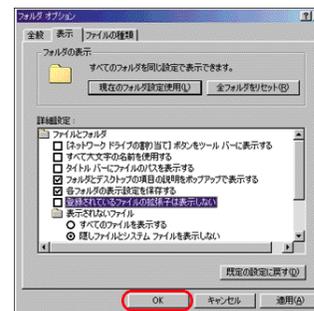
拡張子を表示する

Windowsの初期設定では、拡張子は表示されないようになっています。拡張子を表示させてみましょう。

[マイドキュメント]など任意のフォルダを開き、メニューバーの[表示] - [フォルダオプション]をクリックする。



[フォルダオプション]ダイアログボックスが表示されるので、[表示]タブをクリックする。



[詳細設定]で[登録されているファイルの拡張子は表示しない]のチェックをはずし、[OK]をクリックする。

ファイルのプロパティ

ファイルの種類や作成したアプリケーションなどを「プロパティ」から調べることができます。

ファイルの「プロパティ」を開きましょう。

ファイルを右クリックする。

表示されたメニューから[プロパティ]をクリックする。

選択したファイルのプロパティが表示される。



拡張子（かくちょうし）

拡張子とは、ファイル名のうち、「.」（ピリオド）で区切られた右側の部分で、ファイルの種類が一目でわかるように付けられた識別記号です。拡張子が表示されていれば、どんな種類のファイルであるか一目でわかります。

Windows Me, XPでは

メニューバーの[ツール]から[フォルダオプション]をクリックします。

おもな拡張子

.txt	テキストファイル
.doc	「Word」で標準に使われている文書ファイル
.xls	「Excel」で標準に使われている表形式のファイル
.htm (.html)	Webページなどで利用されているテキストファイル
.bmp	Windows標準の画像ファイル
.jpg (.jpeg)	Webページによく利用される画像ファイル
.gif	Webページによく利用される画像ファイル
.pdf	印刷物のように保存できる画像ファイル
.wav	Windows標準のサウンドファイル
.avi	Windowsの動画ファイル
.exe	プログラムの実行ファイル

プロパティ

プロパティ（属性）というのは、「そのものに備わっている性質」という意味です。

ファイルの「プロパティ」

ファイルの種類やアプリケーションだけでなく、ファイルのある場所や作成日時、ファイルのサイズなどを調べることができます。

3 ファイルとフォルダ

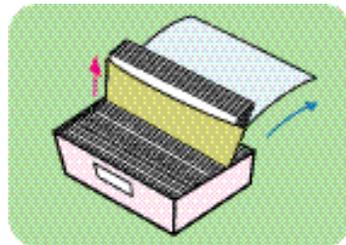
ファイルはフォルダを利用して、整理することができます。そして、これらの整理されたファイルのある場所を管理するのもOSのはたらきのひとつです。

フォルダの作成

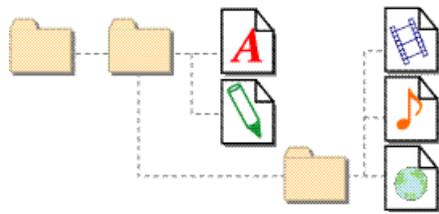
フォルダは、**ファイルをまとめて整理しておく入れ物**です。多くのファイルを雑然と置いておいては必要なファイルを見つけることができません。

フォルダを利用すれば、わかりやすく分類しておくことができます。

フォルダは、たとえば書類を封筒に入れて、それをさらに大きなキャビネットにしまうように、フォルダの中にフォルダを作成することができます。



フォルダは、いろいろな種類のファイルを入れることができ、これらのファイルやフォルダを階層的に分類して整理することができます。



フォルダを作成する

フォルダを作成したい場所で、右クリックする。

表示されたメニューから [新規作成] - [フォルダ] をクリックする。



「新しいフォルダ」という名前のフォルダが表示されるので、付けたいフォルダ名を入力する。



フォルダ

ファイルを分類・整理するための保管場所にあたります。フォルダには、どのような内容かわかるように好きな名前（フォルダ名）を付けることができます。

同様の概念を **ディレクトリ**ともよぶことがあります。

ツリー構造

枝分かれをした階層構造のこと。木の形に似ていることからこうよばれます。

フォルダとフォルダ、フォルダの中のファイルの関係も枝分かれをしたような構造で表示することができます。

ファイル名・フォルダ名の変更

すでにあるファイル名・フォルダ名を変更したい場合は、ファイルやフォルダを右クリックし、表示されたメニューから [名前の変更] を選んで、新しい名前を入力します。



削除

ファイルやフォルダを削除するには、選択して、ごみ箱のアイコンにドラッグアンドドロップします。また、右クリックのメニューから [削除] をクリックすると、ファイルはごみ箱に移動します。ファイルやフォルダが削除されると、ごみ箱のアイコンが紙くずが入った形に変わります。完全に削除をするには、**ごみ箱を空にする**必要があります。



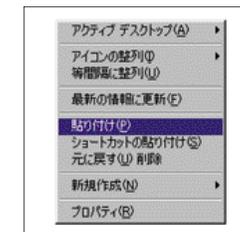
コピー

ファイルやフォルダをコピーするには、次のようにしましょう。

コピーしたいファイル・フォルダを右クリックし、表示されたメニューから [コピー] をクリックする。

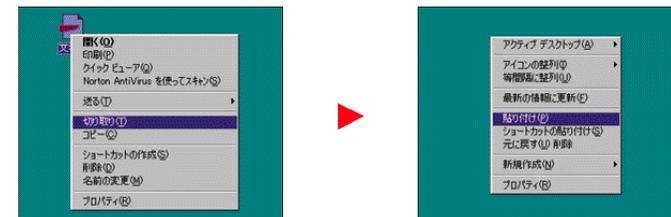


コピー先で右クリックし、表示されたメニューから [貼り付け] をクリックする。



移動

ファイルやフォルダを移動するには、選択して、目的の場所にドラッグアンドドロップするだけです。また、右クリックのメニューの [切り取り] をクリックして、[貼り付け] をして移動することもできます。



ごみ箱を空にする

ごみ箱を空にするには、ごみ箱をダブルクリックして開くか、アイコンを右クリックして、[ごみ箱を空にする] をクリックします。[ファイルの削除の確認] ダイアログボックスが表示されたら [はい] をクリックすれば、完全に削除することができます。

完全に削除されるとごみ箱のアイコンが空のアイコンに戻ります。

フォルダのコピー・移動・削除

フォルダをコピー・移動・削除する場合は、フォルダの中にあるファイルやフォルダも一緒にコピー・移動・削除されます。

ファイルやフォルダの表示の切り替え

フォルダのウィンドウにあるアイコンの表示を利用しやすいように切り替えることができます。

表示を切り替えるには、フォルダのウィンドウにあるメニューバーの「表示」をクリックし、表示されたメニューから表示方法を選択します。



【大きいアイコン】
アイコンが大きく表示されます。

【小さいアイコン】
アイコンが小さく表示されます。

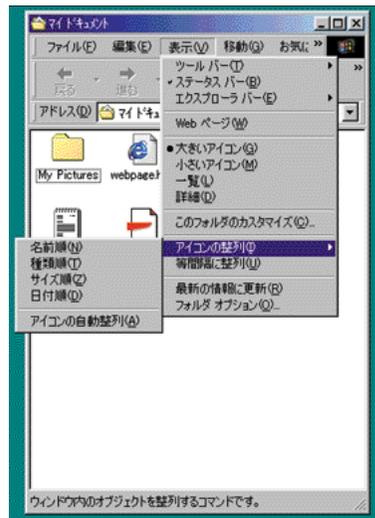
【一覧】
一覧で表示され、一度にたくさんのアイコンを表示することができます。

【詳細】
ファイルやフォルダの詳細な情報が一覧表示されます。

ファイル・フォルダの整列

フォルダ内にあるファイルやフォルダを決まったルールで整列させることができます。

フォルダのウィンドウにあるメニューバーの「表示」から「アイコンの整列」をポイントし、表示されたサブメニューから整列の順序を選択します。



【名前順】
ファイルやフォルダが文字コードの順番に並びます。

【種類順】
ファイルを作成したアプリケーションの順番で並びます。

【サイズ順】
ファイルやフォルダの大きさの順番で並びます。

【日付順】
ファイルやフォルダを作成した日付の順番で並びます。

ツールバーから

ツールバーの「表示」ボタンをクリックして、表示されるメニューから表示の切り替えをすることもできます。



縮小版の表示

Windows XPでは、表示の切り替えて「縮小版」をクリックすると、画像ファイルの場合、画像の縮小版が表示されます。ファイルの中身を確認することができます。



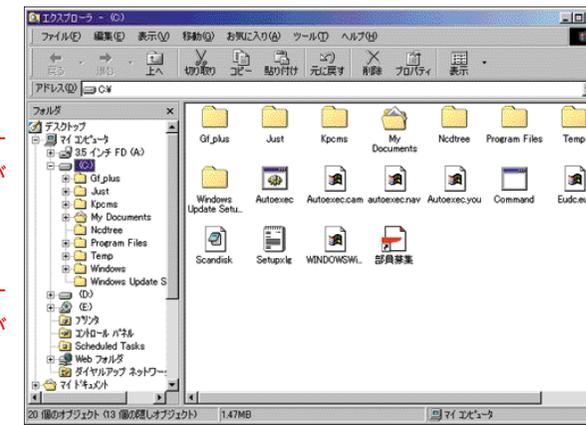
エクスプローラ

ファイルやフォルダを管理するには、エクスプローラを使うと便利です。エクスプローラのウィンドウの左側には、**フォルダのツリー構造**が表示されていて、右側には選択したフォルダ内のファイルの一覧が表示されています。

フォルダの左側にある「+」ボタンをクリックすれば、下の階層を表示することができます。また、「-」をクリックすれば、下の階層を閉じることができます。フォルダの中身が見たいときは、そのフォルダをクリックすれば、ウィンドウの右側に表示されます。

フォルダ間のファイルのコピーや移動もエクスプローラで行うことができます。

「フォルダ」をクリックすると、ウィンドウの右にフォルダの中身が表示される。



「+」をクリックすると、下の階層が表示される。

「-」をクリックすると、下の階層が閉じる。

ファイルの検索

Windowsのファイル管理では、エクスプローラだけでなく、ファイルの検索機能があります。これを利用すれば、簡単に目的のファイルやフォルダを見つけ出すことができます。

ファイルやフォルダを検索するには、次のようにします。

デスクトップのスタートボタンをクリックする。

スタートメニューで「検索」から「ファイルやフォルダ」をクリックする。

検索画面が表示されるので、ファイル名などの条件を入力して、「検索開始」ボタンをクリックすれば、条件に合ったファイルやフォルダを検索することができます。

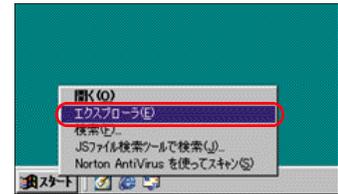


検索画面

エクスプローラの起動

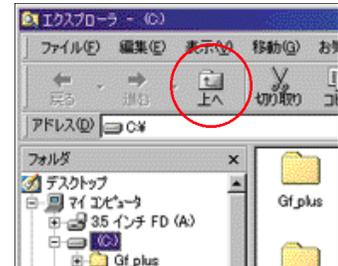
エクスプローラを起動するには、いくつかの方法があります。

スタートボタンを右クリックして、表示されたメニューから「エクスプローラ」を選択します。



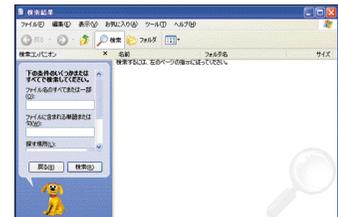
階層の移動

階層の移動は、ツールバーを使って行うこともできます。ツールバーの「上へ」ボタンをクリックすれば、上の階層へ移動します。



Windows XPでは

Windows XPでは、ファイルやフォルダを検索するには、スタートメニューで「検索」をクリックし、検索コンパニオンで「ファイルやフォルダすべて」をクリックします。



Windowsを使いこなす

1 ハードウェアの管理

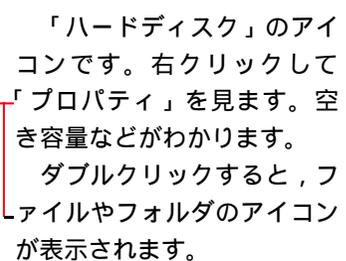
Windowsには、コンピュータに装備されているハードウェアを管理する機能があります。わたしたちは、ハードウェアをコントロールしているソフトウェアにいろいろな設定を行うことで、コンピュータをより使いやすくなることができます。

マイコンピュータで全体を見る

[マイコンピュータ]を開いてみましょう。ダブルクリックします。コンピュータに接続されている機器などのアイコンが見えます。

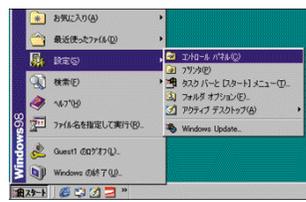


「ハードディスク」のアイコンです。右クリックして「プロパティ」を見ます。空き容量などがわかります。ダブルクリックすると、ファイルやフォルダのアイコンが表示されます。



コントロールパネルを使う

[コントロールパネル]を使ってできる設定を見てみましょう。



コントロールパネルを開きます。[スタート] - [設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックします。



コンピュータに表示される時刻を変更する。



[日付と時刻]を設定するアイコンをダブルクリックします。カレンダーや時計が表示されます。ここで時刻の設定や、時刻の表示のしかたを変更することができます。

「デバイスマネージャ」

[マイコンピュータ]を右クリックして[プロパティ]から[デバイスマネージャ]を見ると、コンピュータに接続されているハードウェアが一覧できます。



[マイコンピュータ]から開く [マイコンピュータ]のフォルダに[コントロールパネル]のアイコンが表示されている場合もあります。アイコンをダブルクリックします。

[コントロールパネル]にあるアイコン

コンピュータの機種によって多少異なります。また、新しい機器を接続したときにアイコンが追加されることもあります。

マウスを使いやすくする

ダブルクリックをするときに、クリックとクリックの間隔が遅いと、ダブルクリックにならず、思うようにマウス操作ができません。そのようなときに[ダブルクリックの速度]を調整するとよいでしょう。

マウスのアイコンをダブルクリックして[マウスのプロパティ]を表示させる。

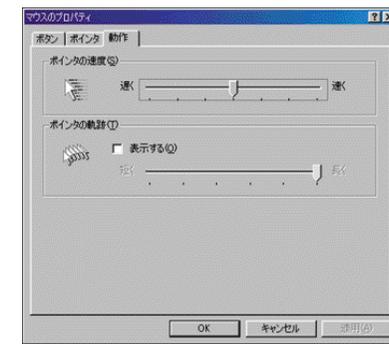


ダブルクリックの速度を調整する。

[ボタン]タブで[ダブルクリックの速度]の動作テストをしながら適切な位置にスライダを移動させる。

マウスポインタの動作を調整する。

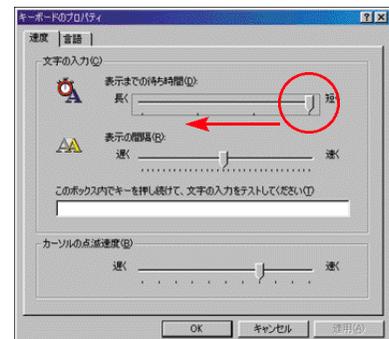
[動作]タブで[ポインタの速度]と[ポインタの軌跡]の調整をして、作業しやすい速さにする。



キーボードを使いやすくする

キーボードをすばやく打てない人が、1つのキーを押している時間が長いと、同じ文字が続けて入力されてしまいます。そこで、入力されるまでの待ち時間を調整してみましょう。

キーボードのアイコンをダブルクリックして[キーボードのプロパティ]を表示させる。



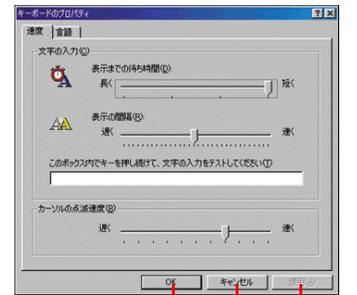
[速度]タブで[文字の入力]の[表示までの待ち時間]を「長く」に調整する。下のボックスで同じキーを押しつつながら試してみましょう。

マウスポインタを変える

マウスポインタは、「ポインタ」タブから選んで、自分の好きな形に変えることができます。



「ダイアログボックス」で設定するときの注意事項



設定を有効にして元の画面に戻りたいときには、[OK] 何も設定せずに元の画面に戻りたいときには、[キャンセル] いくつもタブがあるとき、続けて別のタブにある設定をしたいときには、[適用]

2 ネットワークとWindows

Windowsには、ネットワークを利用して情報をやりとりできるしくみが備えられています。

LANにつながれたコンピュータを利用する

[ネットワークコンピュータ] のアイコンをダブルクリックする。



ほかのコンピュータのアイコンやプリンタのアイコンが見える。自分のコンピュータにあるかのように操作できる。



ダイヤルアップでWebページを見る

ブラウザのアイコンをダブルクリックする。



ユーザー名とパスワードを入力する。

[接続] をクリックする。

スタートページが表示される。



タスクバーに「接続中」のアイコンが表示される。(アイコンを右クリックすると切断が簡単にできる。)



ダイヤルアップネットワークのアイコンから接続する

[マイコンピュータ] の [ダイヤルアップネットワーク] のアイコンをダブルクリックして、接続や切断を行う方法もあります。複数の接続先がある場合は、この中からアイコンを選んでクリックします。



LANの構築

LAN (Local Area Network) を組むには、ケーブルとケーブルの配線の中継するためのハブが必要です。ケーブルとコンピュータはネットワークカード (LANカード) を介して接続されます。

LANの設定

LANカードやケーブルの接続が完了したらソフトウェアの設定が必要になります。

LANカードのドライバソフト (動かすためのソフトウェア) をインストール。

[コントロールパネル] の「ネットワークとダイヤルアップ接続」を設定。

インターネットへの接続の設定

プロバイダとの接続手続きが完了していないときには、[インターネット接続ウィザード] を利用します。 (Internet Explorer) アイコンをダブルクリックするとウィザードが起動します。あるいは、[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [通信] から起動し、必要な設定をします。

電子メールを利用する

メールソフトを起動すると、接続のための手順がはじまります。

インターネットへの接続と切断

通常、Webブラウザや電子メールソフトを起動すると、インターネットへの接続の手順が開始されます。それぞれを閉じると、切断の手順がとられます。

3 問題を解決するには

作業中に疑問やトラブルがあったときには、ヘルプを利用して解決をするようにします。無理に複雑な操作や、多くの仕事を同時に行おうとすると、OSはコンピュータの安全のために一時的に停止したような状態をとります。

強制終了をする

アプリケーションが反応しなくなったときには、トラブルのもとになっているウィンドウを閉じて、ほかのウィンドウかデスクトップの画面に戻るようにします。これを「強制終了」といいます。

[Ctrl] キーと [Alt] キーと [Delete] キーを同時に押しと [プログラムの強制終了] ダイアログボックスが表示される。

「応答なし」と表示されている項目をカーソルキーで選び、[終了] をクリックする。

それでも正しく動作しないときには、[Ctrl] キーと [Alt] キーと [Delete] キーを同時に押し続けて再起動をする。



[終了] をすると、対象となっているアプリケーションで作業中で保存をしていないデータは失われてしまいます。「シャットダウン」をすると、Windowsが終了してしまいますので、トラブルを起こしたアプリケーションのデータでなくても、保存をしていないデータは失われてしまいます。

ヘルプを使う

「ヘルプ」を起動させましょう。

フォルダのウィンドウの [ヘルプ] をクリックする。



[トピックの検索] をクリックし、必要な項目を選択してクリックする。

[表示] を押すと、右側にヘルプが表示される。



フリーズ

マウスやキーボードからの操作を受け付けず、反応がなくなった状態を「フリーズした」といいます。

マウス操作を受け付けないときは

[終了] がクリックできないときには、キーボードで [Alt] キーと [E] キーを同時に押します。また、開いているウィンドウは、[Alt] キーと [F4] キーを同時に押すことで閉じることができます。

強制終了をしても解決しないときは

終了の操作をしても電源が切れないとき、青い画面で止まってしまうようなときには、壁からの電源をいったん切ってから、また電源をオンにしてみましょう。

「Windows タスクマネージャ」

Windows XPからは、[Ctrl] キーと [Alt] キーと [Delete] キーを同時に押しと、「Windows タスクマネージャ」が表示されます。解決の手順は同様です。



「ヘルプ」を表示させる

デスクトップを選択して、[F1] キーを押すと「ヘルプ」を表示させることができます。

ショートカットキー 一覧

ショートカットキーを知っていると、作業が速くなります。ここでは、Windowsを利用するときに知っていると便利なショートカットキーを紹介します。

よく使用するショートカットキー

キー操作	結果
Ctrl + C	コピーする。
Ctrl + X	切り取る。
Ctrl + V	貼り付ける。
Ctrl + Z	直前の操作を元に戻す。

ファンクションキーによるショートカットキー

キー操作	結果
F1	ヘルプを表示する。
F2	選択した項目の名前を変更する。
F3	ファイルまたはフォルダを検索する。

アプリケーションに共通するショートカットキー

キー操作	結果
Ctrl + O	[開く] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + S	上書き保存をする。
Ctrl + N	新しいウィンドウを表示する。

その他のショートカットキー

キー操作	結果
Ctrl + Alt + Delete	強制終了をする。
Ctrl + A	すべて選択する。
Shift + Delete	ごみ箱に入れずに、完全に削除する。
Fn + E	エクスペローラを起動する。
Alt + ↓	選択したアイコンの「プロパティ」を表示する。

MS-IMEのショートカットキー

キー操作	結果
□	入力した読みを変換する。
F6	ひらがなに変換する。
F7	カタカナに変換する。
F8	半角カタカナに変換する。
F9	全角英数に変換する。
F10	半角英数に変換する。